

美術と音楽

マーグ画廊『デリエール・ル・ミロワール』を中心に

画家で映像作家の石田尚志(いしだ たかし、1972年生まれ)にとって、音楽は大きな意味をもっています。20歳の頃、CDラジカセでJ.S.バッハの曲を大音量で流しながら路上で「音楽のスケッチ」を描き始めた彼は、2001年にバッハの楽曲を元に、自らが描くデッサンをコマ撮りの手法で映像化した作品《フーガの技法》で高い評価を受けました。石田が絵画と映像を結びつけたように、画家が革新的な表現に挑戦するときには音楽がリード役をつとめることがあります。20世紀の前半、キュビズムや抽象主義が現れたときにも、今日巨匠と呼ばれる画家たちの多くが音楽からインスピレーションを得ていました。

今回の資料展示では、パリのマーグ画廊出版より1946年から1982年にかけて刊行された美術雑誌『デリエール・ル・ミロワール』、同じくパリで1937年に創刊された美術・文学雑誌『ヴェルヴ』などから、音楽に触発されたことで知られる20世紀の画家、ブラック、ミロ、カンディンスキー、シャガール、マティス、クレーの作品を貴重なリトグラフやコロタイプの図版で紹介します。



ヴァシリー・カンディンスキー(1866-1944)

《相乗的調和》

『Derrière le miroir』、Aimé Maeght、

1969年、No. 179より

美術情報センター蔵、山室百世氏寄贈



『Derrière le miroir』、Aimé Maeght、

左 No. 42 (1951年11-12月)

中 No. 179 (1969年6月)

右 No. 133-134 (1962年10-11月)

美術情報センター蔵、山室百世氏寄贈

2015年 4月1日[水] ~ 7月5日[日] 10:00~18:00 (入室は17:30まで)

木曜休室 / 入場無料

横浜美術館 美術情報センター

【アクセス】 美術情報センターは、美術館正面に向かって左手、ランドマークタワー側のレストラン上階に位置します。レストラン前から階段、またはエレベーターをご利用ください。

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

Tel. 045-221-0316 Fax. 045-221-0317

<http://yokohama.art.museum/research/center/>

